



2011&2015年  
マニフェスト  
大賞受賞\*

港区をもっとよくする

PART3

# 20のアイデア



子育て情報配信

待機児童・待機学童ゼロ



個性を伸ばす教育

途切れない子育て支援



みんなの力で子育て



若者応援基金

快適に暮らせる避難所



不審者が発生しない街

再生エネルギー都市



煙が漏れない喫煙所

防災のためのつながり



ペットと楽しむ場所



認知症フレンドシティ

高齢者の健康づくり



港区らしい事業の支援



小さな声も届く街

すぐに相談できる区政



高齢者に多様な仕事

終活サポート



安全なナイトタイムエコノミー

※マニフェスト大賞とは地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の、優れた活動を募集し、表彰するものです。1期目の2011年、2期目の2015年と連続受賞しています。

## 世界で一番あたらしい街を 一緒につくりましょう。

この街に暮らす、すべての人と一緒に、もっとよい港区をつくりたい。その想いから港区議会議員となり、2期・8年を務めさせていただきました。

少子高齢化が進む中、私たち議員が今やるべきは、地域の課題をこれまでにないやり方で解決する努力をすること、さらに、性別や経歴・障がい・年齢・国籍・人種などに関わらない多様な人たちの協力を仰ぎ、みんなで社会課題に立ち向かう態勢を整えることだと思います。

そのために、議会ではたくさんの提案を地域の方や企業・NPO・大学と一緒にしてきました。

活動の成果は、子育て支援のインフラ整備／防災のコミュニティづくり／高齢者の活躍の場づくり／自転車シェアリング／AIやテクノロジーを活用した行政改革・教育改革など、街の様々な場所にあらわれています。

東京の中心である港区が、もっとワクワクできる街になれば、そのアイデアは日本中に広がっていく。そう信じて、私は前に進みます。次の世代の子ども・若者に、もっとよい未来を残していくための街づくりを、私と一緒に、はじめませんか？

まずは、この「港区をよくする20のアイデア・パート3」をご覧ください。と嬉しいです。

# 横尾としなり

よこおとしなり  
(37)

港区議会議員 無所属  
認定NPO法人グリーンパートナー代表

横尾としなりの会  
討議資料



## 横尾としなり

港区議会議員 無所属  
認定NPO法人グリーンバード代表

### プロフィール

アメリカに留学後、9.11をきっかけに、自ら学生団体を立ち上げたり、ユネスコなどの NGO・NPO でインターンやボランティア をしたりするようになる。コミュニケーションの力で日本の NGO・NPO や地域を盛り上げたいと 2005 年 4 月、広告会社の 博報堂に入社。以来、港区に住む。

博報堂では「会社も街に貢献するべき」との思いから、仲間と「グリーンバード赤坂チーム」を設立し、リーダーを務める。2010 年 10 月、博報堂を退社し、NPO 法人グリーンバードの代表に。

現在、港区議会議員（議会運営委員会副委員長、まちづくり・子育て等対策特別委員長、建設常任委員、保健福祉常任委員、東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員等を歴任）

赤坂消防団第一分団班長／防災士／港稲門会幹事／NPO法人マチノコト代表／2011年・2015年マニフェスト大賞受賞

1981 年 3 月 3 日、神奈川県横浜市生まれ。

東京都港区赤坂在住。魚座、A 型。

神奈川県立横須賀高等学校卒業。

早稲田大学人間科学部卒業。

早稲田大学大学院人間科学研究科修了。

現在、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 後期博士課程に在籍中。

### 著書

『18 歳からの選択 社会に出る前に考えておきたい 20 のこと』（最新刊）他

月刊『ソトコト』『日経カレッジカフェ』などで連載中



### 座右の銘

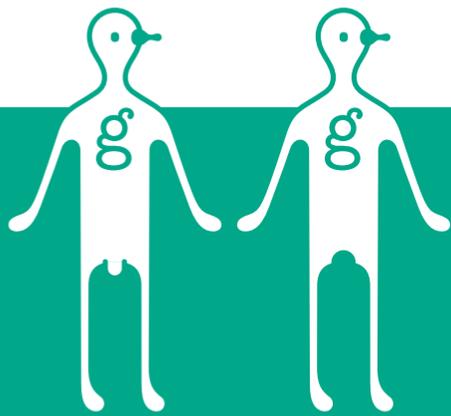
世界を動かそうと思ったら、まず自分自身を動かせ。

### 好きなアーティスト

Mr.Children, GAKU-MC

<http://ecotoshi.jp/>

[@ecotoshi](https://twitter.com/ecotoshi)



green bird  
keep clean, keep green

## 街のみんなで、街をキレイに。 認定NPO法人グリーンバードでの活動。

2002年に表参道で活動を開始したグリーンバードは、現在は日本国内 77チーム、海外に 13チームと、その活動は全世界へ広がっています。港区では、赤坂チーム、表参道チーム、虎ノ門チーム、芝浦チームが活動中。集まった若者は、ゴミ拾いだけでなく地域のボランティア活動やお祭りへも積極的に参加しています。東北や熊本などの被災地支援も行っています。誰でも自由に、「できる限り」で参加できる団体です。お近くのチームへ、ぜひ参加してみてください。



### 港区のグリーンバード

赤坂チーム 毎月第 2・4 火曜日 8:30～

芝浦チーム 毎月第 2・4 水曜日 8:00～

表参道チーム 毎週月・水・木曜日 9:30～(月) 10:30～(水) 19:00～(木)

虎ノ門チーム 毎月第 2・4 木曜日 8:30～

<http://www.greenbird.jp/>



# 50年先・100年先の 港区をつくる 「仕組み」と「制度」を 生み出すために これからも挑戦します。

## 「地域の活動に参加したい」 若者を動かしてきました

「新住民や若者はちっとも地域活動に参加してくれない」という声をよく聞きます。しかし、内閣府などの調査によると、実は約6割の人は「機会があったら活動に参加したい」と考えているのです。私は、町会や商店会、消防団などの活動に、この6割が参加できるきっかけとして、お祭りやゴミ拾いといった活動への若い世代の参加を呼びかけてきました。さらに、行政に対しては、企業やNPOも含め、みんなの力をもっと引き出すようなワクワクする施策を実行することで、少ない予算でも、一人一人の思いのこもった理想の街をつくることができると訴え、様々な施策を実現してきました。



## 課題は 持続できる「仕組みづくり」

確かな成果が実感できる一方、課題も見えてきました。それは、施策を「制度化」することです。例えば、私が議会運営委員会の副委員長として深く関わっている議会運営。「開かれた議会」の実現に向けて、これまで区議会では、議員間の合意に基づき、タブレット端末の導入やペーパーレス化、インターネット生中継や議会報告会の実施などを行ってきました。しかし、議員の構成が変われば、続かなくなってしまうかもしれません。恒常化するには、先進自治体で導入されている「議会改革基本条例」の制定が必要だと考えます。

「みなとーく」では2~3ヶ月に一回程度、ゲストをお呼びし、港区が抱える社会課題について若い人とともに、みんなで考え、政策や企画アイデアをつくるワークショップを開催しています。

## みんなの暮らしを “よくする” 制度を

2期目、私は区内の方々からの要望を受け、同性カップルに証明書を発行し、病院の面会や生命保険の加入、同居の面での課題を軽減して彼らの生きづらさを解消する「同性パートナーシップ条例」の制定に向け活動しました。このような、一人一人の生活をよくするための制度をこれからも次々と整えて、規制改革を含め、様々な制度の構築を行うチャレンジをしたいと考えています。

## 「港区ビジョン構想委員会」 の設立へ。

### 50年・100年先を 見据えた街のプランを

4年ごとにリセットしてしまわない、街づくりのために、「港区ビジョン構想委員会」の設立を目指します。4年ごとにリセットする街づくりではなく、確実に少子化が進む未来、50年・100年先を見据えた、街の大きなプランを住民のみなさんと一緒につくっていく。そんなチームを生み出すことが、次の4年間の私に課せられた使命だと感じています。街の人たちの理解が深まらないまま進む施設や道路、制度づくりを無くし、時間をかけて一緒に考え、合意を得ながら、よい方向へ進めていく港区を実現します。

これまで議会では350項目を超える提案を行ってきました。行政でできないことは、民間の力を借りて実現してきました。



## 子育て 「プレーパーク」の実施

実績 01

平成 23 年 10 月 3 日 初提案

プレーパークの導入に向けて、様々な提案を行いました。

子どもがのびのびと、思い切り遊べるように禁止事項を少なくし、大人が見守る中、自然の中で「自分の責任で自由に遊ぶ」公園です。現在は、区立高輪森の公園、区立亀塚公園などで実施されています。



## 子育て 保育コンシェルジュの導入

実績 02

平成 26 年 10 月 7 日 初提案

保育を希望する保護者の相談に応じ、家庭の事情や希望に合った保育サービスの情報提供を行う専門の相談員を設置しました。保育園の空き状況を含め、区の様々なサービスの情報を提供し、安心して子育てができるような環境の整備に努めています。

## 子育て デジタル教科書の活用とタブレット型携帯端末の導入

実績 03

平成 25 年 3 月 11 日 初提案

23 区に先駆けて「電子黒板」や「デジタル教科書」を導入しました。すべての区立の小中学校でタブレット端末が配布され、子どもたちが能動的に学び取る「アクティブラーニング」が推進されています。国際的な舞台でも活躍できる子どもを育てたいと考えています。

## 子育て トップアスリートと連携した教育

実績 05

平成 23 年 10 月 4 日 初提案

区内のトップアスリートや競技団体と連携し、子どもたちに一流から学ぶ機会を提供して欲しいと提案してきました。今では野球やサッカー、バレーボールなど、様々なトップアスリートが、現役・OB問わず、学校などで教えてくれています。

## 子育て 待機児童解消への取り組み

実績 06

平成 24 年 6 月 28 日 初提案

「まちづくり・子育て等対策特別委員会」の委員長として、様々な提案を行いました。区は、これまで緊急暫定保育施設の整備や私立認可保育園の誘致、小規模保育やベビーシッターなど、あらゆる手法を導入して、待機児童の解消やサービスの向上に取り組んできました。国の教育無償化の流れに先駆けて、第二子以降の保育料を無料にしました。



## 環境・防災 区内 Wi-Fi 導入

実績 08

平成 23 年 6 月 16 日 初提案

防災対策の充実や行政サービスの向上、それに観光へ役立てるため、区民や来街者の皆さんが無料で利用できる公衆無線 LAN「Wi-Fi」のサービスを開始しました。どこでもインターネットにつながる環境づくりを目指し、さらなるサービスエリアの拡大を訴えています。

## 環境・防災 みつばちあ 赤坂 BeeTown プロジェクト

実績 09

平成 23 年 9 月 16 日 初提案

地域にある企業、商店街、NPO が協力し、有志のボランティアを中心に、TBS の屋上でミツバチを飼っています。港区の小中学校の環境教育にも役立ち、「赤坂産のはちみつ」は地元の銘菓などにも使っていただいています。プロジェクトの名前やロゴは、博報堂時代の同僚につくってもらいました。



## 子育て メールを活用した子育て情報の発信

実績 04

平成 26 年 9 月 29 日 初提案

お母さんのご意見を聞いて区に何度も提案し、子育てに関する情報が、必要な人にプッシュ通知で届くようになりました。妊娠期から子どもが3歳になるまでの家族に対して、妊娠、出産、子育ての知識と区の情報を配信し、安心して出産・子育てできるよう支援しています。



# みんなの力で提案 実現した アイディア!

8 年前と 4 年前に作成したマニフェストから発展させ、様々な施策を提案しました。住民・職員・議員などみんなの力で実現したものの一部を紹介します。

## 環境・防災 防災訓練のイベント化

実績 07

平成 23 年 6 月 16 日 初提案

誰もが思わず参加したくなる防災訓練をつくるため、避難所での宿泊体験と音楽ライブを掛け合わせたイベント「アカリトライブキャンプ」を、地区委員会や消防団の協力のもと、開催しました。震災体験者のトーク、防災パネルディスカッション、炊き出しなどのコンテンツに、大人にも子どもにも喜んでもらいました。また、パパ・ママやペット連れ、外国人など、いつもの訓練には参加しづらい人たちのための訓練の提案もしています。



## 環境・防災 再生可能エネルギーの導入

実績 10

平成 23 年 9 月 16 日 初提案

地球温暖化防止に向け、再生可能エネルギーの導入を進めています。まずは区が福島県白河市とみやまスマートエネルギーに協力していただき、実現しました。今後は他の自治体とも連携して供給量を増やし、区有施設や区内の様々な企業・個人に導入していただきたいと思います。

街のつながり  
実績 13

## 大使館との連携強化

平成 23 年 9 月 30 日 初提案

区内に 80 近くある大使館をより身近に感じてもらい、子どもたちに国際感覚を養ってもらいつつ、大人たちに国際文化を楽しんでもらうために、港区ワールドフェスティバル・スタンプリアーを実施しています。港区には他にもたくさんの人・ものの資源があります。有効活用して、区民サービスの向上に努めます。

街のつながり  
実績 15

## みんなで区が抱える課題を解決！ 「みなとーく」

港区が抱える社会課題について、住む人、働く人、学ぶ人、みんなで考え、政策や企画アイデアをつくるワークショップを開催しています。この場が私の政策づくり、企画づくりの肝です。ここから、自転車シェアリングのアイデアや、ママ向けのイベント「Happy Nappy Day」、防災訓練のイベントなどが生まれました。



環境・防災  
実績 11

## 自転車シェアリングの導入

平成 23 年 9 月 29 日 初提案

どこでも自転車のレンタルや返却ができる自転車シェアリングを、平成 23 年にはじめて議会で提案しました。今では、区内のあちこちで赤い自転車がみられるようになりました。区内の様々な方に協力していただき、サイクルポートが増えたこと、また他区とも連携し、様々な場所で使えるようになったことでより便利になりました。区民の足になっているほか、放置自転車を減らす効果や観光にも役立っています。「自転車中心のまちづくり」を進めるため、今後は自転車レーンの延長や環境の整備も進めていきたいと思っています。



高齢者  
実績 12

## お年寄りを支える 家族をサポート

平成 28 年 9 月 30 日 初提案

「高齢者見守りキーホルダー」の導入により、認知症などにより徘徊の恐れがある方が行方不明になった時に、迅速な身元確認や連絡が可能になりました。「みんなとオレンジカフェ」は、認知症の方やその家族の相談に応じるとともに、地域の方々を含めて交流して楽しめる場です。高齢者やその家族が安心して過ごせるまちづくりを、引き続き目指していきたいと思っています。

街のつながり  
実績 14

## 区民の声や回答、進捗状況の共有

平成 24 年 2 月 24 日 初提案

皆さんからいただく行政への様々なご意見・ご提案を確実に区政運営に役立てるべく、広聴制度の充実・強化、進捗状況の見える化に取り組んでいます。区内在住・在勤・在学の人たちみなで区のこれからの議論する「みなとタウンフォーラム」にはどなたでも参加できます。

街のつながり  
実績 16

## 障がいのあるなしに関わらず、 みんなで楽しめるスポーツ

平成 30 年 2 月 26 日 初提案

健常者と障がい者の垣根をなくすための活動に取り組んでいます。NPO と連携を図り、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、年齢、性別、国籍を問わず、誰でも楽しめる「ゆるスポーツ」を区内各所で実施するよう、議会で提案を行いました。



街のつながり  
実績 17

## 区が持つ様々なデータを オープンに

平成 24 年 2 月 24 日 初提案

行政が持つ様々なデータを、個人が判別できないようにした上で、積極的に民間に開放する取り組みを進めています。たとえば、子どものニーズに関する情報の公開が進めば、民間事業者はもっと良いサービスを必要な地域に提供できるはず。良いアプリもつくることできるはず。社会課題は、行政だけでなくもっと民間ベースで解決できるようになると考えます。

街のつながり  
実績 18

## 「開かれた議会」の実現にむけて

平成 25 年 3 月 4 日 初提案

「議会運営委員会」の副委員長として、日々の議会運営が円滑にいくように努めています。区議会では、「開かれた議会」を目指しインターネット生中継を行えるようみんなで取り組みました。また、議会内だけではなく区の様々な場所で皆さんに議会の進捗を報告する「区政報告会」も実施しました。



街のつながり  
実績 19

## 町会・自治会の支援

平成 23 年 9 月 27 日 初提案

これまで地域の防災・防犯、地域コミュニティの活性化などに貢献してきた町会や自治会は、今、担い手不足や資金不足などの課題を抱えています。他自治体の成功事例などを紹介しながら、議会で様々な提案を行ってきました。赤坂では、町会の方々と、私道に長テーブルを出し、近所の人たちみなで交流するイベントも実験的に行いました。昨年には、会員数が少なく資金や人材が不足しがちな町会・自治会の自主的・自立的活動を支援するために「協働事業活動補助金」も新設されました。今後は IT なども導入して、幹部の方の負担を減らしつつ、区内で様々な活躍している企業や NPO、その他の団体とどう協力していけるか、そして昔から住む人も新しく移ってきた人も一緒になって楽しめるイベントをどうつくっていけるかに注力していきます。



これから  
提案して  
いきます

# 港区をもっとよくする

PART3

# 20のアイデア

## 子育てと教育のこと



### 一人一人違う 子育て情報配信。



子育てに役立つ取り組みはたくさんあります。しかし、子どもの年齢も、家族構成も異なる皆さんに、個別の情報配信がうまくできていないのが現状でした。たくさんメールが来ても自分とは関係ないものに紛れて、本当に大切なものを見逃してしまう。そんな問題を解決するため、情報の取捨選択に AI を導入します。子どもの年齢や家族構成を加味し、イベント情報を含め、必要な情報だけが確実に届く仕組みを開発します。



### 子育てに みんなの力を。



子育てを「孤育て」にしないプログラムを実施します。学童保育だけではカバーできない、子どもが一人になる時間を減らすために、放課後の時間を過ごすことができる場所の設置・支援に取り組みます。また、ワンオペ育児に苦しむパパ・ママの悩みを減らすための相談の場も設置し、子どもと親、どちらにとっても「孤独」にならない街の子育てを目指します。



### 一人一人の 個性を伸ばす教育。



保育園を増やしても、その質が担保できなければ、安心は生まれません。NPOなどとも連携し、英語やプログラミングや外遊びなど、子どもの個性を伸ばす先進的なプログラムを積極的に取り入れる園を増やしていきます。また、学習障害など学校教育に適應できない子どもたちの才能を伸ばす教育プログラムも取り入れていきます。

## 街のつながりのこと



### 困りごとは すぐに相談できる区政。



道路や公園などみんなが使う場所の不具合や、生活の中での困りごとを、もっと簡単に一人一人が伝えることができるデジタルの仕組みをつくりまます。スマホで簡単に声が届けられるようになれば、暮らしの問題はスムーズに解決できます。さらに、区役所のデジタル化を進めることで、これまで役所に行かなければできなかった各種申請や手続きも簡単になります。



### 待機児童・待機学童 ゼロへ。



8年間で265人から89人（平成30年4月1日時点）まで、待機児童の数は減りましたが、ゼロにならないと十分とは思っていません。エリアごとの差もあります。用地の確保と周辺の理解、保育士の待遇改善という今行うべき策、また一時預かりやベビーシッターなど、補完する制度や延長保育の充実、各種手続きの簡素化を、これからも積極的に提案していきます。また、次の課題・待機学童ゼロにも取り組みます。



### 妊娠から、大人になるまで 途切れない子育て支援。



フィンランドを参考に、妊娠・出産・子育ての支援を一貫して行う「ネウボラ」という仕組みを導入します。一人の子どもに関わることで、行政が管轄する部署が時期によって異なるため、情報の共有が課題となっていました。相談所の設置や各機関のデータ連携を行い、妊娠前から18歳まで、切れ目のないサポートを実現します。



### 若者応援基金で 教育をサポート。



「学びたい」という気持ちを大切にするために、高校生・大学生への支援を強化します。特に海外留学で視野と知識を広げたいという想いを、資金面で援助。意欲と成績が高い大学生には給付型の奨学金を提供することで、港区の未来を担う優秀な若者を育てます。



### 小さな声も 届く街。



LGBTQ や障がいを持つ方々、貧困家庭や若者など、区政に声が届きにくかった方々の声が届く仕組みをつくりまます。例えば、障がいに関する施策だけに障がいを持つ方の声を聞くのではなく、公園づくりにも道路の整備にも、彼らの声を反映させることが、本当の意味でのバリアフリーです。



### ペットと一緒に 楽しめる場所を。



ペットとともに入ることができるお店をデータ化し、スマホで簡単に確認できる仕組みをつくりまます。お店にも協力していただき、わかりやすくステッカーを掲示。また、災害時の避難所は、人が暮らす場所とは分けた上で、ペットという家族とともに過ごしやすいスペースや物資を充実させていきます。



## 不審者が発生しない街づくりを。



子どもが安心して暮らせる港区を実現するために、不審者情報の見える化に取り組みます。これまで、不審者発生時はメールなどで連絡が届いていましたが、行政だけではなく、広くみんながレポートできる仕組みをつくります。また、地図と連携させ、危険なエリアや時間帯がスマホで簡単に見える仕組みも整備します。



## 100% 再生エネルギー都市へ。



サンフランシスコなどの世界の先進都市では、100%再生エネルギーを都市全体で導入することが当たり前になってきています。これは、今後、企業や生活者が街を選ぶポイントになり得る要素。全国に先駆けて取り組むことが港区の未来に繋がると考え、仕組みづくりを行っていきます。



## 煙が絶対漏れない喫煙所。



街の分煙はもはや当たり前。しかし、公共の施設ではエリアが分かれているだけで、煙が外に流れていってしまう場所も多数あります。真の意味での分煙を目指し、高性能の煙吸引ができる機器の導入や啓発員の設置などの対策を行い、喫煙者も非喫煙者も快適に過ごせる環境を整えます。

## 環境と防災のこと



## 快適に“暮らせる”避難所を。



災害時に多く発生している避難所の衛生問題やストレス、物資の不足で起きてしまう「震災関連死」を減らすことに取り組みます。避難所運営マニュアルの標準版を、編集者とも協力し、誰でも理解できるものにつくり替えます。また、各避難所にはダンボールを使った簡易でも過ごしやすいキットを導入。さらに、ニーズに合わせた支援物資の供給を実現するための、ITネットワークの整備も行います。



## 防災のために繋がるマンション。



マンション内のコミュニティは、災害時のためにも、老朽化するマンションの安全を守るためにも大切です。管理組合や自治会が機能していないマンションは、備蓄や避難用品などの管理も、必要な設備の設置や修繕もできていない場合があります。まずは、町会・自治会との連携や組織の支援を行い、隣の人の顔を知ることからコミュニティを機能させていきます。

## 高齢者の暮らしのこと



## 高齢者の働きたいを叶えよう。



一般的なシルバー人材センターから高齢者に渡される仕事は、これまでのスキルを活かせない労働が多数を占めます。高齢者を、職業スキルを極めたプロと考え、様々な分野で皆さんの能力を活かせる職の提供を行っていきます。保育分野をはじめ、人手が足りない区の仕事にも従事してもらえればと思います。



## 認知症フレンドシティへ。



日本は、人口における認知症患者の割合が世界で一番高く、2025年には、高齢者の約4人に1人は認知症またはその予備軍になると言われています。認知症でも過ごしやすい街づくりのために、街の組織や企業などに向けたガイドラインの作成や子ども向けの講習会、認知症やその家族の方が集まりやすいカフェの設置拡大などを行います。



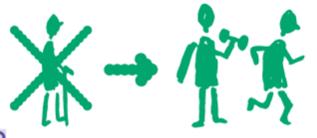
## 終活をサポートする窓口を。



高齢化をポジティブにサポートするために、今需要の高まっている終活やキャリア支援にも行政として取り組みます。民間のサービスがたくさん生まれている中で、どう選べば良いのか。相続などの悩みを誰に相談すれば良いのか。そのための窓口を設置します。



## 介護から健康づくりへ。



高齢化する社会をポジティブに捉えていくために、いつまでも元気に楽しく、街の活動にも参加できる高齢者を増やす仕組みをつくります。マイナスをゼロにするリハビリではなく、スポーツジムなどと連携し、動くための筋力をつけてもらいたいと思います。



## 港区らしい事業の支援。



区民発のビジネスやアイデアの実現をサポートする仕組みをつくります。様々な企業や学校、世界中の大使館などが集まる港区だからできる、行政と民間の連携。「はじめたい」という意思を持った人が気軽に集まり支援を受けられる仕組みや、実験的な取り組みができる場所をつくります。また、近年増えているフリーランスや副業などの新しい働き方をサポートする制度も整えます。



## 安全に楽しめるナイトタイムエコノミー。



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、観光で訪れる外国の方がさらに増えていく港区。特に夜の時間帯の過ごし方を、行政として見ないふりをするのではなく、制度や仕組みを整備していきます。商店街・企業・大学などの連携で、時間帯や場所をしっかりと分けたり、ITで支援できる仕組みをつくり、訪れる人も暮らす人も安心して楽しめる街の実現を目指します。併せて、アートや伝統文化など、コンテンツへの支援も充実させます。

# 私たちは、横尾としなりに期待しています



**古田 敦也** 野球解説者

問題を見つけてそれをただ指摘することは簡単なこと。問題を解決するために行動し、成果を残すことは実際にはなかなか難しい。それをやってしまうのが横尾さん。これからも期待しています。



**GAKU-MC** ラッパー

まずはやってみる。どうせやるなら楽しんでやってみる。彼から教わった一つの教訓。歩みを止めず、もっと先へ進んで欲しい。



**立川 志の彦** 落語立川流 立川志の輔一門

以前、グリーンボードに参加し、その後、防災イベントで一緒にさせていただきました。落語会にも遊びに来てくださいます。人の縁をとて大事にされている、洒落のわかる粋な方です。



**大谷 遼太郎** トライアスロン選手

横尾さんが夏にお台場で開催された子ども向けのイベントにも登壇させて頂きました。スポーツを通じて、アイデア力、実行力のある横尾さんと一緒に新しいことに挑戦していきたいです！



**家入 一真** 連続起業家/株式会社 CAMPFIRE 代表取締役

社会をよくするためには、政治や行政だけでなく、民間の一人一人が小さくとも声を上げ、動くことが大事だと信じています。横尾さんはそのどちらも経験したうえで行動し続けることが出来る稀有な存在です。応援しています。



**小熊 英二** 慶應義塾大学教授/博士後期課程に通う横尾としなりの指導教授

誠実で、行動的で、優しく、明るく、知的。少々軽薄なところもあるが、地道にがんばる。それが私の知っている横尾くん。日本社会を地域から変えるために、彼の知性と行動力を、港区という場で役立ててください。



**久保 直生** 横尾俊成事務所インターン/株式会社 Kazamidori 代表

目立つことより、票になることより、何より常に「どうしたらもっと素敵な街が出来るか」という問いに向き合い続けて活動し、アイデアを出されているのをずっとそばで見してきました。誰よりも信頼できる上司であり、みんなの憧れのリーダーです。



**駒崎 弘樹** 社会起業家

横尾くんのような若い世代が区議会にいないと、シルバー民主主義はどんどん進んでいきます。NPO 活動で培った現場感を、区政に活かしてくれることを大きく期待しています。



**佐藤 大吾** NPO 法人ドットジェイビー 理事長

「住みやすいまちづくり」を目指し、悪戦苦闘を重ねながらも全力で走り続ける横尾くんの周りにはたくさんの伴走者が集まっています。8年前、横尾くんが一人で走り始めたシーンを目撃した者の一人として、これからも応援していきたいと思えます。



**妹尾 正仁** 港区在住 弁護士

この4年間、横尾さんからはいつも「まち」を良くする具体的なアイデアと行動の話聞いてきました。彼ならもっと港区をあったかくて新しい「まち」にしてくれると思います。僕たちの「まち」の代表、プロデューサーである彼を応援します。



**泊 三夫** 一般社団法人ソシオ・エンジン・プロジェクト代表理事/元博報堂顧問

横尾さんは、仲間たちを巻き込んで、とにかく実行しています。また、出来もしないのにやりますとは決して言いません。彼は『みんなが力を出し合う社会』を呼び掛けています。そして、課題の解決に新しいテクノロジーで取り組むなど、最良の選択を希求し続けています。



**長谷部 健** 渋谷区長

マーケティング力、企画力、行動力、優しさなどなど、横尾の持ち味は羨ましいほどいっぱいある。その持ち味を活かして、港区をもっと先進的で暮らしやすい区にして欲しいです。渋谷区から応援しています！



**平岩 国泰** 放課後NPOアフタースクール 代表理事

横尾さんは、「政治はまちづくり」と感じさせてくれます。港区が明るくなるアイデアをたくさん持っている貴重な方です。横尾さんのような議員さんが増えると子どもたちは未来に夢を見ます。応援しております！



**松本 理寿輝** まちの保育園・子ども園 代表

理想的な子どもの環境をつくることと、理想的な社会をつくることは同じこと。横尾さんは、そのことにまっすぐに取り組んでくれる頼もしい仲間！



**横尾 京子** 横尾としなりの母

真に相手を思いやる心。純粹に物事を捉え、自分が今何をすべきかを考え実践する力。責任感が強く真面目なところ。寛大で柔軟性をもって物事に対処する姿を、そばでずっと見てきました。そんな私は、世界一幸せな母親です。



**出野 泰正** 赤坂青山町会連合会 会長

横尾くんには日頃から地域での事業、とりわけ防災訓練「芋煮会」やキャンプ等事前・事後の大変なところをいつも協力してもらっています。参加者には分かりづらいところですが、そうした下支えもなければ事業は成り立ちません。地域の子どもの育成事業を更に進めるためにも、期待しています。



**川東 政實** 赤坂氷川町町会 会長

町会のイベントやお祭りなどにたくさんの若者を集めるなど、アイデアを出すだけでなく、まちのために一生懸命汗をかき、動き回ってくれる横尾君に、これからも期待しています。



**小原 壮太郎** 一般社団法人 the Organic 代表理事/ 特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会 理事

誠実で、丁寧で、地道に、そして優しい。こういう人に地元の政治を任せたい、と思えるのが横尾くんです。ソーシャルアクティビストの先輩としても尊敬しています。



**指出 一正** 「ソトコト」編集長

まちに関わる人が増えれば、そのまちはもっとおもしろくなり、そのまちに住む人は、もっと幸せを感じられるようになる。そんな誰もが参加したくなるようなまちづくりを、着々と愛情たっぷりに行っているのが横尾さんです。心から応援しています！



**杉山 文野** NPO 法人 東京レインボープライド共同代表理事

一人一人、ひとつひとつ、様々なことに丁寧に向き合って着実に力をつけた8年間だったのではないかと、友人の一人として感じています。LGBTの取り組みにも積極的に関わってくれてありがとう！蓄積したその経験と体脂肪を燃料に（笑）これから益々の活躍を期待しています！



**TAKACO** 自治体にパートナーシップ制度を求める会 世話人

同性パートナーシップ制度の請願の相談を最初にしたのが、横尾さんでした。何も知らない私に、丁寧に教えていただき、議会での採択は横尾さんなしでは語れません。区民に寄り添う議員とは横尾さんの事です！



**新居 日南恵** manma 代表

常に大学生をはじめとする若い世代を巻き込みながら、子育て支援をはじめとする次世代のサポートに全力で注力されていて、まさに未来世代を支える方だと思います。応援しています！！



**秀嶋 賢人** NPO 法人 Social Net Project MOVE 理事長/映画監督

市民、生活者の日々の暮らしの向上が地域・社会・国・世界を変える一歩になる。それを最も理解し、実践している。それが横尾さんです。彼が港区議会議員であることを私は港区の誇り、財産だと思っています。



**藤沢 烈** 一般社団法人 RCF 代表理事/元復興庁政策調査官

防災情報マガジンの企画、災害時の避難所訓練をご一緒させていただきました。政治家が行政に何かをやってもらうだけではなく、自分で地域のために団体をつくり、課題の解決に取り組む、そんな"政治家2.0"である横尾さんに強く期待しています。



**山崎 亮** コミュニティデザイナー

30年先の地域を考えながら今を生きることが大切だと思います。だからこそ、若い議員が政治に携わることが重要です。横尾さんがさらに若い議員の牽引役となることを期待します。

横尾としなりの会新聞 2019年2月1日発行

発行責任者：横尾俊成 港区赤坂 6-19-7-307

印刷：福博総合印刷株式会社 福岡県福岡市壱粕3丁目16番36号

